

【取り組みなど】

Q	持ち帰りのガイドラインなど作られていますか。
A	持ち帰り時のルールや使い方、注意事項などは作成し、家庭及び児童に配付しています。
Q	使った課題や授業の様子を共有できるとありましたが、やり方を教えてください。
A	授業で使う教材などはGoogle classroomというツールを活用して、教員だけのクラスを作り、課題の共有や連絡を書き込む掲示板のように活用しています。 授業の様子を撮影したものについては、職員室のPCにデータを共有できるフォルダが以前からあるので、それを活用して、学年別に日付や教科、単元などが分かるようにファイリングしています。
Q	パソコンの使用のルール（学校と家庭）どう決めたのか。
A	まずは端末の使用を始める前に、「指示があるとき以外は使わない」とか「指示された学習のためにのみ使う（持ち帰り時）」など、基本的なルールを決めたのちに、実際使う場面で必要だと感じたことや不必要だと思ったことが出てきた際には、話し合っ取捨選択していくという形で決めているので、今後も児童の実態に合わせて変更する可能性はあります。
Q	スマートスクールチームのメンバーはどのように決めたのか。
A	本校教員の中でも比較的ICT端末の活用が得意な教員をピックアップして、校務分掌として決めました。
Q	子どもたちに貸与されているものはタブレット以外にあるのか。
A	今のところはタブレットとその充電器のみで、持ち帰りの際は必要に応じて市から配布されたモバイルルーターを貸し出しています。
Q	持ち帰りについてどのようなことを実践されているのか。
A	オフラインで使えるAIドリルや家庭Wi-Fiへの接続テストなどは全体で実施し、学年によっては臨海学習の資料の持ち帰りや、月の観察などを行っている学年もあります。
Q	タッチペンは子どもたちは持っているのでしょうか。
A	持っていません。今回6年生で使っていたマウスもPC教室のものを利用していました。本校としては、操作性の向上や時間短縮のためにもタッチペン、もしくはマウスの導入も今後検討する必要があると考えています。
Q	評価物が増えてきたときにどのように対応されていくか教えてください。
A	まだ評価物がさばききれないほど増えてきているわけではないので、具体的にどう対応しているといった話はできないのですが、今後考えていくべき取り組みの一つと思っています。 評価対象の精選と評価基準の設定など、統一しておくべきことを中心に話し合っていけたらと思っています。

Q	1日のタブレットの管理場所、方法、過去にあったトラブルや解決法、使用のルールなど、どうしているか聞きたいです。
A	<p>【管理場所や方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年、1～2台の保管庫が導入されています。日中は、1クラスの学年と2クラスの学年で、1クラス当たりの人数に差があるため、管理場所の統一はしていません。各担任の管理の上で、教室の棚を使用したり、かごなどを使って、置き場所を作ったり、使うたびに保管庫に戻したりとクラスに合わせて工夫しています。かごを使っているクラスでは落下防止のために底をテープで固定するなどの工夫をしてくれています。また、夜の間充電されるので、帰る前には必ず保管庫に戻すようにしています。 <p>【過去にあったトラブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末の不具合として、動かない、画面が反応しない、ファイルが開けないなどの問題が何度か起こっています。その際は、一度電源を切り、再起動するなど対応していますが、解決しない場合は市の教育委員会に依頼しております。 学習者用端末が導入されて間もないころに、Google classroomで作成したクラス内で、教師が見てない間に子どもたちだけのやり取りを行っているということがありました。幸い、そのときに問題が起こるということにはなかったのですが、使い方の確認や情報モラルについての指導と、教師がしっかりチェックできるようにしていくことが必要であると再認識して取り組んでいます。 <p>【使用のルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「両手で持つ」「画面は、優しく触る」などのICT機器を扱う上での注意事項や「ログイン用のIDは他者に渡さない」「自分の学習者用端末以外使わない」などなどセキュリティ上必要なもの、「指示がないときに触らない」「休み時間等は原則として使わず、使いたい時や使う必要があるときは、担任の先生に伝える」などの使用上のルール、そして、情報モラルに関することなど、基本的なことは最初に設定し、その後、実際に使ってみて出てきた問題や、児童の実態に応じて、追加や削除、変更を行っています。
Q	使用しているソフト・アプリなどについて教えてほしいです。
A	<p>「Googleスライド」(プレゼンテーション用)、「Googleフォーム」(アンケート集計用)、「Googleドキュメント」(文書作成用)、「スプレッドシート」(表計算用)、「Googleミート」(ビデオ会議システム)、「Jamboard」などを授業のねらいに合わせて使用しています。特にjamboardはデジタルのホワイトボードのようなもので、使いやすいため、自分の考えを深め、整理したり、友だちと考えを共有する活動でよく使っています。</p> <p>AIドリルの「e-ライブラリ」や「ランドセル」などは授業の復習などで活用しています。</p> <p>その他にも、学習者用端末(chromebook)の「カメラ機能」なども使用して、記録や観察を行っています。</p> <p>また、「キーボー島」や「Popタイピング」などのタイピング練習用のソフトは子どもたちが自由に使える状態にしています。</p>

Q	授業以外(校務上) で便利な使い方があれば教えてください。
A	<p>【児童に対しての使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が積極的に手を挙げられるように、目標を決めて学習者用端末に記録させたりしています。 ・最近では、学習者用端末で連絡帳を書きプロジェクターで映しています。 ・報告会でも報告させていただきましたが、委員会などでも使用しています。 ・Google meetを使って、全校朝会をリモートで行っています。 <p>【事務作業や教員間での使い方】</p> <p>基本的なものもあるかと思いますが、いくつか挙げさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修などの資料のペーパーレス化。 ・Google classroomを活用して教員のクラスを作り、教材や情報の共有、連絡、アンケートを行うなどに活用しています。 ・市内の他の小学校の先生方ともクラスを作れるので、市の教育研究会や校区の取り組みなどでも活用しています。 <p>また、本校ではまだ実際に活用はできていないのですが、Google カレンダーを活用して行事予定の共有をすると、予定のところに会議資料などを貼り付けることができるので、どこにいても行事の日時だけでなく、実施要項なども含めて確認することができるので、今後活用していきたいと思っています。</p>
Q	Formを使うとグラフ化もしてくれてとてもわかりやすいのですが、自由記述にすると思いはあるのに打てないというような子に対してはどのように評価していますか。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングが苦手と思いが打てないという児童に対しては、学習者用端末 (chromebook) に備わっている手書き入力や音声入力の機能を活用しています。 ・思いが言語化できなくて打てないという児童に対しては、自由記述だけでなく選択式のふりかえり項目を作ることや、個別に聞き取りを行うなどして対応しています。
Q	足し引きの筆算などでは使いにくいなと思っていて、もしやられたことがあるなら教えてほしいなと思いました。
A	筆算の指導を行う際には、斜線を入れて繰り上げや繰り下げを行うのはデジタルではなかなかしにくい部分もあるので、実際に紙に書く活動をさせています。しかし、習熟度を高めるためのふりかえりや復習を行う際には、AIドリルを活用して取り組むこともあります。

【当日の授業について】

〈5年〉

Q Formでふり返しをしていましたが、最後どのような集計結果が出たのかを見たかったです。また、集計結果から次回どのように授業改善していくのかの考えを授業者の方に聞きたかったです。

A 「班での話し合いのとき、積極的に自分の意見を発表することができましたか？」という質問で5段階評価をさせると、半数以上がポジティブな回答を返していました。「作者はなぜ題名を「たずねびと」としたのでしょうか？」という問いに対しては、「綾が広島を訪ねて行って昔にどんなことが起こったかわかってもう二度と起こらなくなったらいいなと思ったから」や「綾のように小さな子どもなどに、原子爆弾が世界で初めて広島に落とされたと知ってほしかったから。」といった様々な回答をしていました。
次の時間に子どもたちに結果を見せて題名に対しても様々な捉え方ができ、作者の思いが題名に込められているということを感じるきっかけにしました。また、自分自身の反省として、中にはワークシートに書いた初めの答えから変容していない児童もいたので、話し合い活動の仕方を工夫して、子どもたちが他の人の考えを聴いて深めるということができるようにはしていけないと気づくことができました。

〈6年〉

Q なんのソフトを使っているのですか。

A 研究授業当日に、使っていたソフトは、「Googleスライド」と「Googleマップ」です。

Q 事前の準備などはありますか。

A Googleスライドで児童用のシートをクラスの数分用意しました。

Q 6年生の算数で使っていた編集ソフトについて詳しく教えていただきたいです。

A 6年生で使っていた編集ソフトは、「Googleスライド」というソフトです。これは、「プレゼンテーション用ソフト」で、提案や発表で使われるソフトになります。また、「共同編集」(複数人で同時に編集できる機能)があるのも特徴の一つです。この「共同編集」機能を使い、児童の考えを共有して使っています。具体的には、一人一人にページを振り分け、自分の考えを打ち込み友だちと考えを共有するというをしています。